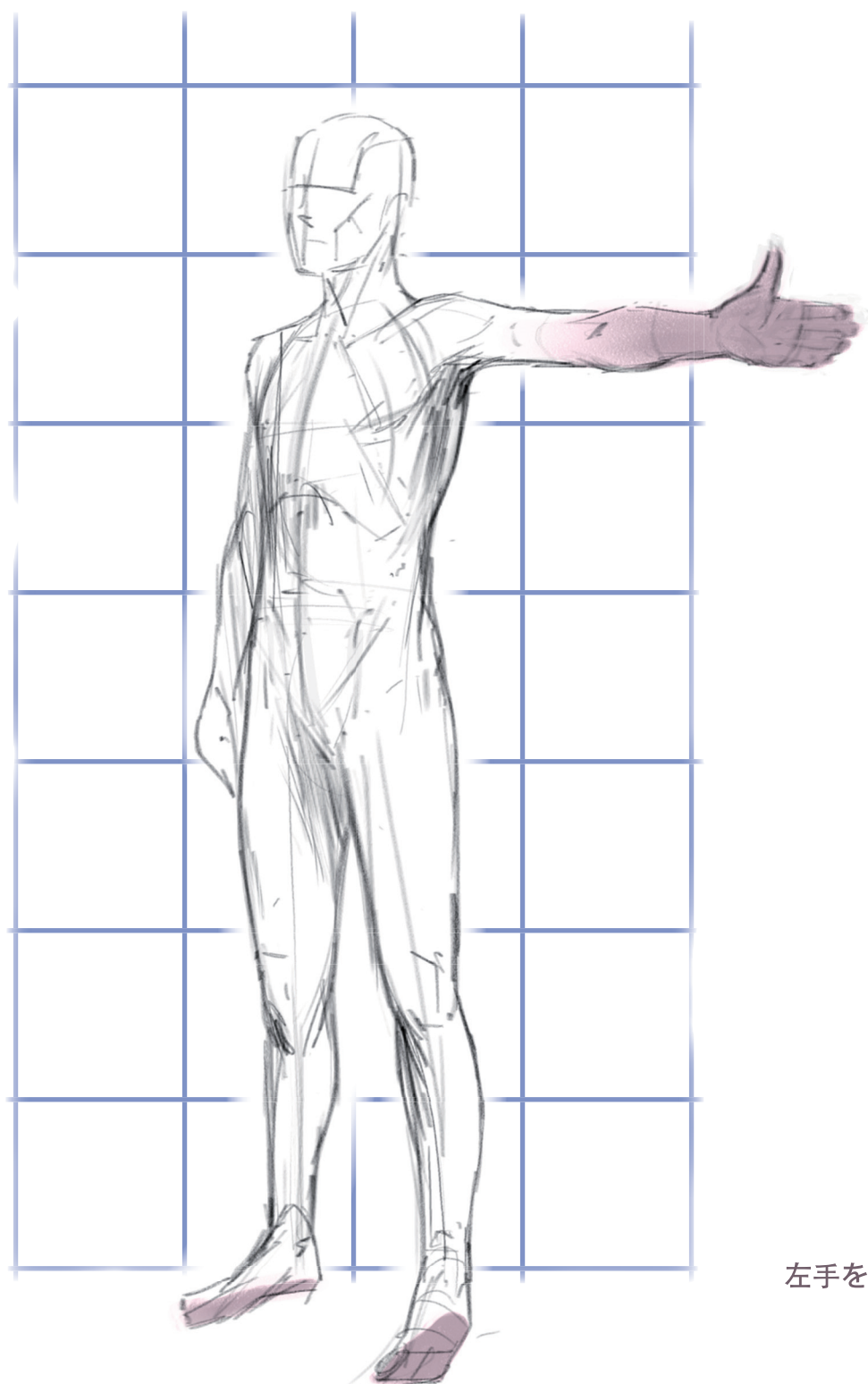


2 ポップ・ビート、 アフリカン・リズム



左手を横へ広げる

本セッションも、セッション1と同じやり方で始めましょう。本プログラムを続けることで、あなたが指導する生徒たちは、各セッション開始時の出来が、どんどん良くなっていくことでしょう。生徒たちがステージ1を楽にできるようになった時、彼らの拍感と協同感覚は、自然と良くなっています。そうなったら、セッションの始め方も様々なやり方をしてみることができます。例えば、以下のような始め方です。

- 速さ(テンポ)ー ポップのテンポで、速くしたり遅くしたりするのに慣れさせてみましょう。
- 異なる身体動作に挑戦しましょう。これを試してみてください：

1	2	3	4
手拍子	左手 指鳴らし	右手 指鳴らし	手拍子

簡単かと思います。以下に示した、もう少し難しいものに挑戦してみましょう。

1	2	3	4
手拍子	左手 指鳴らし	右手 もも打ち	右手 指鳴らし

基本パターンを紹介しましょう。主要なリズムの1つに、ヨルバ族のバタドラムによるものがあります。

最終的には、以下のような進行になります。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
x	-	-	x	-	-	x	x	-	-	x	-	x	-	-	x

上の進行の中の「x」のマークは手拍子、または言葉を発するときは「cha(チャ)」となります。

さあ、やってみましょう。

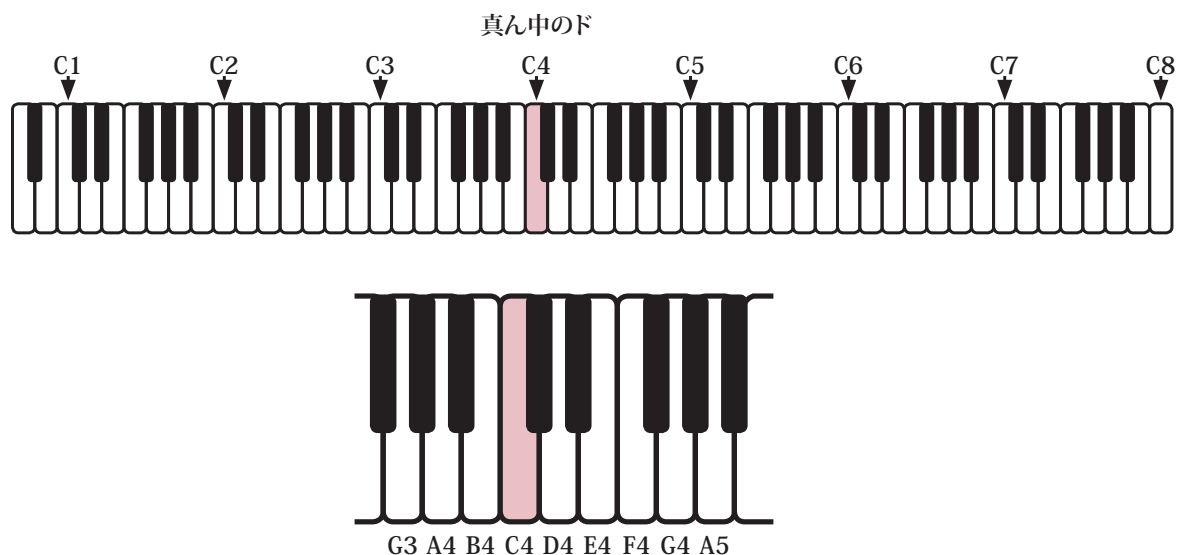
あなた:	1	2	3	4
	手拍子	左手 指鳴らし	右手 指鳴らし	手拍子

生徒: 真似をします。

あなた: これを1度行ったら、次のように続けます。

1	2	3	4
手拍子			手拍子

生徒: 真似をします。



上の図の中に、「真ん中のド」があるのが見つかるでしょう。この音が、生徒たちに対して歌う最初の音です。

このセッションで歌う短いメロディは4つの音で出来ていて、真ん中のドから始まります。その後、白鍵の1つ上のレ(D4)へ上がり、2つ下がってシ(B4)、そして真ん中のド(C4)へ戻ります。それぞれの音の音名を用い、拍に合わせるようにします。次のようになります。

あなた:	1	と	2	と	3	と	4	と
	ド		レ		シ		ド	
	C4		D4		B4		C4	

拍を指でカウントしながら、「ドーレーシード」と歌い、これを2回繰り返します。

この段階では、全員の助けになるよう、メロディが拍の頭にあります。

あなた: みんないいですか。私の後に続いて下さい。(言葉のみで)「ド」

生徒: 「ド」

あなた: 「レ」

生徒: 「レ」

あなた: 「シ」

生徒: 「シ」

あなた: 「ド」

生徒: 「ド」